

FM/AM
**コンパクトディスク
プレーヤー**

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らない
と、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐ
ための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示していま
す。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



CDX-C6000

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この取扱説明書と別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- ・運転者は走行中に操作をしない。
- ・車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていなか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 安全な場所に車を止める
- ② 電源を切る
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

△警告・△注意 4

本機だけでできる操作

▶ 準備

- まず、本機をリセットする 6
- 時計を合わせる 7
- SHIFTボタンについて 7
- 放送局を自動でプリセットする 8
- ロータリーコマンダーのラベルを貼る 9

▶ ここだけ読んでも使えます

- CDを聞く 10
- ラジオを聞く 13

▶ ラジオ

- 特定の放送局をプリセットする 15
- 放送局に名前をつける 16
- 放送局を名前で探す(リスト) 18

▶ その他の操作

- ロータリーコマンダーの操作 19
- 音質や音のバランスを調節する 21
- 音や表示の設定を変える 22

付録

- 使用上のご注意 43
- 各部のなまえ 44
- 故障かな? 46
- 保証書とアフターサービス 49
- 主な仕様 50
- 索引 51

準備

ここだけ
読みます
（この
機器を接続する
とき）

ラジオ

その他の操作

CD/MD

DSP

テレビ・ラジオ

CD/CD-ROM

付録

別売りの機器を接続すると

▶ CD/MD

- エンジニア内の
CD/MDを聞く 23
- 聞きたいディスクを探す 24
- 繰り返し聞く(リピート) 24
- 曲順を変えて聞く(シャッフル) 25
- CDに名前をつける(ディスクメモ) 26
- ディスクを名前で探す(リスト) 28
- CDの聞きたい曲だけを聞く(バンク) 29

▶ DSP

- サラウンド効果を選ぶ 30
- サラウンド効果の反射音・
残響音を調節する 31
- CDごとにサラウンド効果を登録する
(DSPカスタムファイル) 32
- リスニングポジションを選ぶ 33
- 前後のスピーカーバランスを調節する 35
- サブウーファーの音量を調整する 36
- 低音・高音の音量を調節する 37
- 前回と同じサラウンド効果で聞く
(ソースサウンドメモリー) 38
- ラインアウトのレベルを選ぶ 38

▶ テレビ・ビデオ

- テレビを見る 39
- ビデオを見る 40
- ラジオ局・テレビ局の一覧を見る 40
- CD/MDの情報を見る 41

▶ CD/CD-ROM

- 音声を切り換える 42

！警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となることがあります。また、取り付ける場所が助手席用エアバックシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



！注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に
損害を与えることがあります。

カセットテープやディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



はじめに

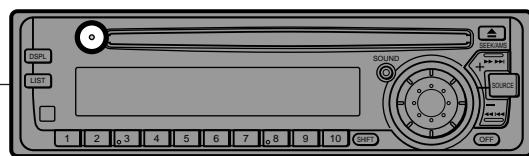
本機では、CDとラジオを聞くことができます。付属のロータリーコマンダーを使って手元で簡単に操作することができます。

別売りの機器をつないだ場合も本機のボタンで操作できます。以下の機器が組み合わせられます。

- CDチェンジャー、MD(ミニディスク)チェンジャー
カスタムファイル機能付きCDチェンジャーを接続するすべてのCDチェンジャーでカスタムファイル機能が可能。
- テレビチューナー、ビデオデッキ
- デジタルプリアンプ
- FM文字多重放送ディスプレイユニット

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのCD/MDチェンジャー、XDP-U50D、テレビ、ビデオを接続した場合の操作方法についても説明しています(23ページ~)。

まず、本機をリセットする

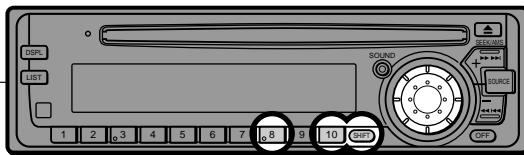


初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、リセットボタンをボールペンの先などで押す。

ご注意

リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

時計を合わせる



1 車のイグニッションキーをONにする。

SHIFT

SET UP
8

SET CLOCK
SET UP →

① 数字ボタン10を押す。

→
10

SET 10:00
SET UP →

② ダイヤルで「時」を合わせる。(時計は12時間表示)



SET 10:00
SET UP →

③ 数字ボタン10を押す。

→
10

SET 10:00
SET UP →

④ ダイヤルで「分」を合わせる。



SET 10:08
SET UP →

SHIFT

3 SHIFTボタンを押す。

時計がスタートします。

SHIFTボタンについて

本機を操作するとき、SHIFTボタンを押すと、1~10のボタンは、上に機能表示が出て各機能の操作ボタンに変わります。

各設定等を行った後はSHIFTボタンを押してもとに戻します。

放送局を自動でプリセットする



受信できる局を数字の1~10ボタンに自動的に登録(プリセット)します。

FMまたはAMのバンドでそれぞれ10局ずつ登録できます。テレビ放送(1~3チャンネル)は、FM90.0MHzの次にあります。



1 SOURCEボタンを押してプリセットしたい放送局のバンドに切り換える。



2 SHIFTボタンを押して「BTM」を表示する。



3 数字ボタン5を押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)と表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い局が周波数の順に数字ボタンにプリセットされます。



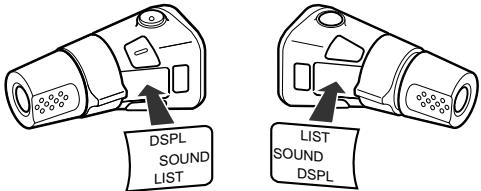
4 SHIFTボタンを押す。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、プリセットされないことがあります。
- 表示窓にプリセット番号が表示されているときは、それ以降の数字ボタンに放送局がプリセットされます。

ロータリーコマンダーのラベルを貼る

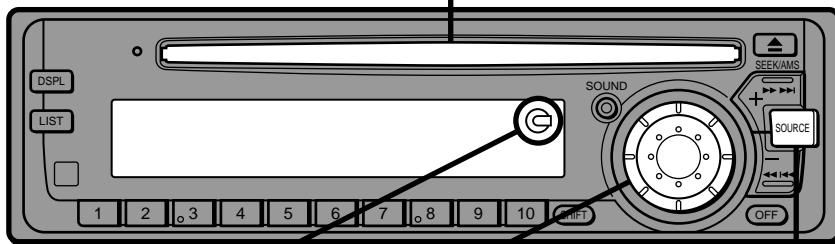
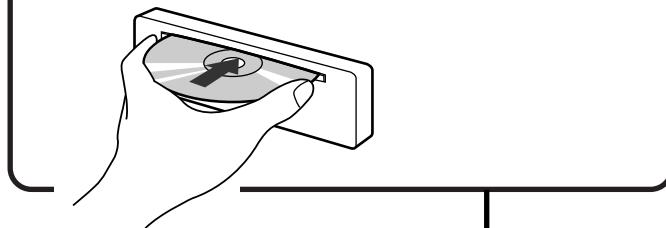
本機にはロータリーコマンダーが付属しています。ロータリーコマンダーの取り付けについては別冊の説明書を、操作については「ロータリーコマンダーの操作（19ページ）」をご覧ください。



ロータリーコマンダーを取り付けた位置によってラベルをイラストのように貼る。

CDを聞く

CDを入れると再生が始まります



ディスクが入っているときに表示する

ラジオ受信のときなどで
も表示します。

音量を調節する

CDが入っているときに
押して「CD」を選ぶと
再生が始まる

ソース
(SOURCEボタン)



8cmCDについて

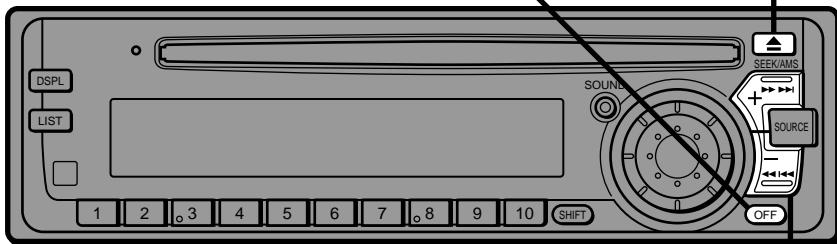
本機では8cmCDをアダプターを使わずに再生
できます。

8cmCDにシングルアダプターを付けてディス
クを再生すると、故障の原因となりますので使
用しないでください。

止める / 電源を切る CDを取り出す*

オフ
(OFFボタン)

イジェクト
(▲ボタン)



聞きたいところを探す

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



先に進める

前に戻す

押しつづけ、聞きたいところ
で離します。

曲の頭出しをする

シーク/エーエムエス
(SEEK/AMSボタン)



次の曲へ

前の曲へ

とばしたい曲の数だけ押します。

* セルフストア機能

▲を押した後、挿入口にCDが15秒以上差し込んだままになっていると、ディスク保護のため自動的にディスクを引き込み停止状態になります。

次のページへつづく

CDを聞く(つづき)

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



*ディスクメモ機能の付いたCDチェンジャーで名前を登録したとき場合。なお名前を登録していないときは、「NO Name」と表示



いろいろな聞きかた

- ・「INTRO」→ 各曲の頭を10秒ずつ再生する。
- ・「REP」 → 今の曲を繰り返し再生する。
- ・「SHUF」 → 再生中のディスクのすべての曲を順不同に再生する。

1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示がでます。
(「SET UP」、「PLAY MODE」など)

PLAYMODE



2 数字ボタン9を押して表示を切り換える。

INTRO → REP → SHUF



3 数字ボタン10を押して「ON」を表示する。



4 最後にSHIFTボタンを押す。

ふつうの再生に戻すには、手順3で「OFF」表示にします。

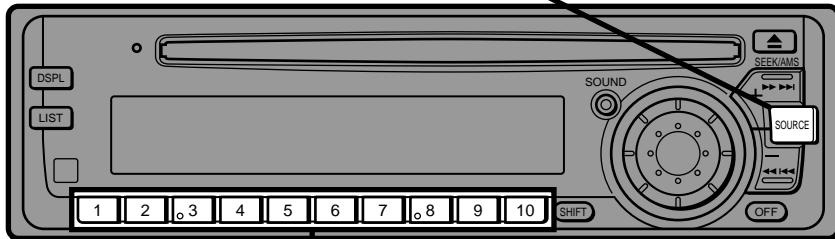
ラジオを聞く

ここだけ
読みます

1 聞きたいバンドに切り換える



押して「FM」または「AM」を選びます。



2 聞きたい放送局のボタンを押す (放送局をプリセットしてあるとき)



プリセット(登録)のしかたについては、8ページ参照。

ご注意

SHIFTボタンが押されていて数字ボタンの上に「BTM」および「SET UP」、「PLAY MODE」表示が出ているときは、数字ボタンで選択はできません。この場合は、SHIFTボタンを押して表示を消してから操作してください。

ラジオを聞く(つづき)

表示の見かた (DSPLボタン)

DSPLボタンを押して表示を切り替えます。



放送局の名前*

周波数

時計

* 名前を登録していないときは、「NO Name」と表示



ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送を受信すると「ST」
と表示されます。放送が聞きにく
いときは、音をモノラルにすると
聞きやすくなります。

- 1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。
- 2 数字ボタン9を押して
「MONO」を表示する。
- 3 数字ボタン10を押して
「MONO ON」を表示する。
- 4 SHIFTボタンを押す。

旅先などで、プリセットした局が受か らないとき(自動選局を使う)

SEEK/AMSボタンを短く押して離します。自
動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい局が受かるまで、ボタンを押します。



- ・聞きたい局がわかっているときは、その局の周波数
になるまでSEEK/AMSボタンを押しつづけます。
- ・自動選局がたびたび止まってしまうときは、SHIFT
ボタンを押してから数字ボタン9を押して「LOCAL
OFF」を選びます。それから数字ボタン10で
「LOCAL ON」を選びます。「LCL」の表示が出て、
比較的電波の強い局だけを受信します。

特定の放送局をプリセットする

ここだけ
読み
ます

ラジオ



放送局を自動でプリセット(8ページ)したあと、空いている数字ボタンに他の放送局を追加登録できます。すでにプリセットしてある数字ボタンも、他の放送局に登録し直すことができます。道路交通情報(AM 1,620kHzまたはAM 1,629kHz)をプリセットしておくと便利です。



1 SOURCEボタンを押してプリセットしたい放送局のバンド(FMまたはAM)に切り換える。



2 SEEK/AMSボタンを押してプリセットする放送局を受信する。

FM

81.3

1

3 プリセットしたい数字ボタンを表示が変わるまで押す。

10

「MEM」が表示されます。

押した数字ボタンの番号が表示され、このボタンに選んだ放送局がプリセットされます。

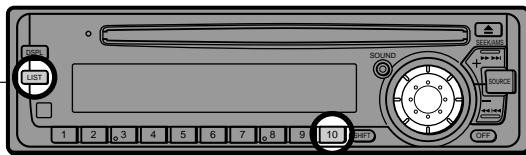
FM

1 81.3

ご注意

すでにプリセットしてある数字ボタンに同じバンドの他の放送局をプリセットすると、前の局は消えてしまいます。

放送局に名前をつける

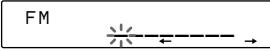


放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示できます。最大40の放送局に、8文字までの名前をつけられます。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

LIST

2 LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



3 文字を入力する。



① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字の間をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

→

10

② 文字が見つかったら、数字ボタン10を押す。

次の文字を入力できるようになります。



まちがえたときは、数字ボタン7を押して修正したい文字を点滅させて正しい文字を入れます。

③ 手順①と②を繰り返し、名前を入力する。

4 つづけて他の放送局に名前をつける場合は、その局を受信してから文字を入力する。

LIST

5 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。



名前を表示するには

DSPL DSPLボタンを押して名前表示に切り換える。

名前を登録していない場合は、「NO Name」と表示されます。

ラジオ

名前を消去するには

1 LISTボタンを表示窓が点滅するまで押す。

2 DSPLボタンを2秒以上押す。

3 ダイヤルを回して消したい名前を表示させる。

4 数字ボタン6(ENTER)を名前が消えるまで押す。

5 LISTボタンを2秒以上押す。

すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

放送局を名前で探す



放送局に名前をつけておくと(16 ページ) 名前を見ながら放送局が探し
ます。

- 1 LISTボタンを短く押す。

LIST 1  受信中の放送局の名前が点滅

名前をつけていない場合は、周波数を表示します。

- 2 つづけてLISTボタンを押して聞きたい放送局の名
前に切り換える。

DSPLボタンを押したり、ボタンを押さないまま5秒間を過ぎると、
との表示に戻ります。

- 3 数字ボタン6を押して受信する。

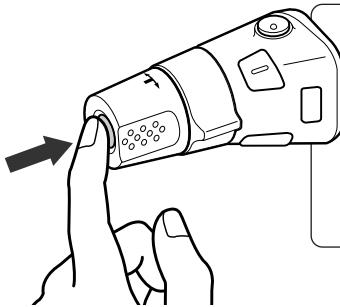
ご注意

別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけ
に表示されます。この場合、上記手順1~3の操作はできなくなり、LISTボタ
ンはリスト表示のON/OFF操作になります。

ロータリーコマンダーの操作

CD/MDチェンジャー・テレビ・ビデオは、各機器をつないでいるときだけ操作できます。

押すと (ソース SOURCEボタン)



SOURCEボタンを押すと

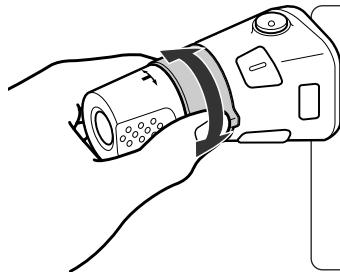
ソースがFM AM CD1 CD2 MD1 MD2 テレビと切り換わる

ロータリーコマンダーのSOURCEボタンを押すと本体の電源が入ります。

ラジオ

その他の操作

回すと (シーク/エーエムエス SEEK/AMS つまみ)



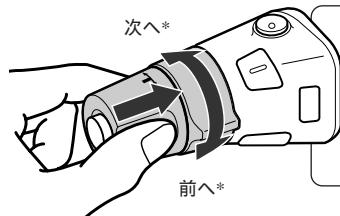
CD/MD... 短く回して離すと曲の頭出しをする

回しつづけると早く送られ、離すと再生に戻る

ラジオ..... 短く回して離すと自動的に局を受信する

回しつづけると特定の周波数を受信する

押しながら回すと (プリセット/ディスク PRESET/DISC つまみ)



CD/MD... チェンジャー内のディスクを切り換える

ラジオ... プリセットした局を順に受信する

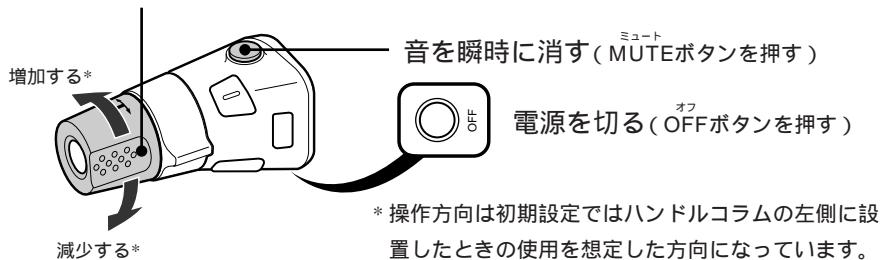
テレビ... プリセットしたチャンネルを切り換える

* 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側に設置したときの使用を想定した方向になっています。

ロータリーコマンダーの操作 (つづき)

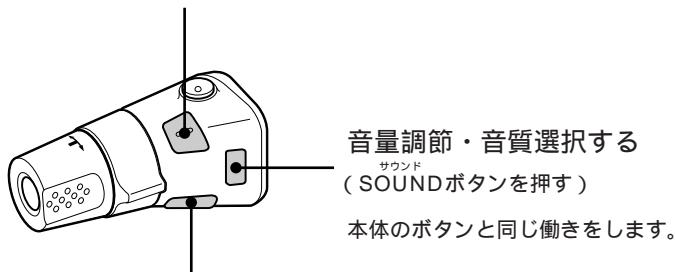
その他の操作

音量を調節する (VOLつまみを回す)



表示を換える (DSPLボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。



リストを表示する (LISTボタンを押す)

本体のボタンと同じ働きをします。

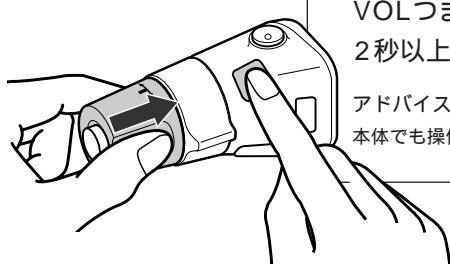
つまみの操作方向を切り換える

運転席の右か左に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆にできます。

VOLつまみを押しながら、DSPLボタンを2秒以上押す

アドバイス

本体でも操作方向を切り換えることができます(22ページ)



音質や音のバランスを調節する



BAS(低音)、TRE(高音)はソースごとに調節できます。

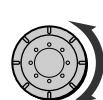
SOUND

- ◎ 1 SOUNDボタンを押して調節したい項目に切り換える。

→ VOL(音量) → BAS(低音) → TRE(高音)
FAD(前後のスピーカーバランス) ← BAL(左右のスピーカーバランス) ←

- 2 ダイヤルを回して調節する。

3秒以内にダイヤルを回してください。3秒を過ぎると音量調節(VOL)に戻ります。



	BAS	TRE	BAL	FAD
弱まる	弱まる	弱まる	左へ移動	後ろ方向へ移動
強まる	強まる	強まる	右へ移動	前方向へ移動

その他の操作

音や表示の設定を変える



次の設定ができます。

- ・「AMBER」、「GREEN」→ 操作ボタンの色を変える。
- ・「BEEP」 → 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音を消す。
- ・「D.INFO」 → 常に時計表示をさせる。
- ・「LOUD」 → 小音量でも聞きやすいように音のバランスを補正する。
- ・「RM」 → ロータリーコマンダーのつまみの操作方向を切り換える。
　　「NORM」 → 初期設定の回転方向。
　　「REV」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

ご注意

「ピッ」という音は内蔵アンプを使用した接続をしていないと鳴りません。



1 SHIFTボタンを押して「SET UP」を表示する。

SET UP



SET UP



2 数字ボタン8を押して調節したい項目に切り換える。

数字ボタン8を押すごとに表示は、次のように換わります。

CLOCK → AMBER/GREEN → BEEP → D.INFO* → LOUD*
→ RM

* チューナー受信やCD/MD再生をしていないときは、表示されません。



3 数字ボタン10を押して調節したい設定表示にする。

(例:「ON」または「OFF」)



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

設定されふつうの表示に戻ります。

CD/MD

別売りのCDチェンジャーやMDチェンジャーをつないで、CDやMD(ミニディスク)を再生できます。この章では、チェンジャー固有の機能について説明します。

チェンジャー内のCD/MDを聞く



再生中にSOURCEボタンを押して聞きたいチェンジャーに切り換える。



全てのディスクを順に再生します。

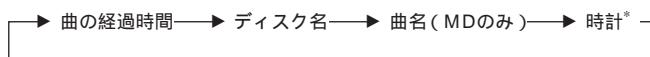
その他の操作

CD/MD

表示窓の見かた



再生中にDSPLボタンを押して表示を切り替えます。



・「NO D.Name」: MDにディスク名が記録されていない。

・「NO T.Name」: MDに曲名が記録されていない。

* デュアルインフォメーション設定を「ON」にしたときは表示しません。

MDに録音日時が記録されている場合は再生中にDSPLボタンを2秒以上押すと録音日時が約3秒間表示されます。

長いディスク名、曲名を再び見るにはSHIFTボタンを押してから数字ボタン7(←)を押します。

自動的に長いディスク名をスクロールするには

DSPLボタンを押すと、曲名またはディスク名に切り換えたとき、10文字以上の名前を自動的にスクロールします。



1 SHIFTボタンを押してから数字ボタン8を押して「A.Scrl」表示にする。



2 数字ボタン10を押して「A.Scrl ON」にする。

通常の表示に戻すには、手順2で「A.Scrl OFF」を選びます。

聞きたいディスクを探す

再生中に聞きたいディスクの番号と同じ数字ボタン1
～10を押す。



リピート

繰り返し聞く

- ・「REP 1」→ 再生中の曲を繰り返す。
- ・「REP 2」→ 再生中のディスクを繰り返す。
- ・「REP 3」→ 再生中のチェンジャーの全ディスクを繰り返す。

SHIFT

PLAYMODE

9

→
10

1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン9を
押して「REP」表示にする。

2 数字ボタン10を押して聞きたい設定に切り換える。

→ REP 1 → REP 2 → REP 3 → REP OFF →

リピート演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「REP OFF」を選びます。

曲順を変えて聞く

- ・「SHUF1」→再生中のディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- ・「SHUF2」→再生中のチェンジャーの全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。
- ・「SHUF3」→全ディスクの曲を順不同に1回ずつ再生する。

SHIFT

PLAYMODE

9

10

1 再生中にSHIFTボタンを押す。次に数字ボタン9を押して「SHUF」表示にする。

2 数字ボタン10を押して聞きたい設定に切り換える。

→ SHUF 1 → SHUF 2 → SHUF 3 → SHUF OFF →

シャッフル演奏が始まります。

ふつうの再生にするには、手順2で「SHUF OFF」を選びます。

CD/MD

CDに名前をつける

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

CDに8文字までの名前をつけ、再生中に表示できます。つけた名前はチェンジャー本体に記憶され、CD110枚分を保存できます。カスタムファイルに対応しているチェンジャーを1台つないでいれば、対応していないチェンジャーに入っているCDにも名前をつけられます。

LIST

- 1 CDを再生し、LISTボタンを表示が点滅するまで押す。



- 2 文字を入力する。

- ① ダイヤルを右に回して、文字を探す。

A→B→C→...Z→0→1→2→...9→+→-→*→/→\→→
→.→_



ダイヤルを左に回すと、逆順に表示されます。

文字をあけたいときは、「_」(下線)を入力します。

→
10

- ② 文字が見つかったら、数字ボタン10を押す。



まちがえたときは、数字ボタン7を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。

- ③ 手順①と②を繰り返して名前を入力する。

LIST

- 3 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

CDに名前をつける(つづき)

名前を表示するには

DSPL

再生中にDSPLボタンを押して、名前表示に切り換える。

名前を消去するには

1 SOURCEボタンを押してCDチェンジャー(「CD1」以外のチェンジャー)を選びます。

2 LISTボタンを表示が点滅するまで押します。

3 DSPLボタンを2秒以上押します。

4 ダイヤルを回して消したい名前を表示させます。

5 数字ボタン6(ENTER)を2秒以上押します。

他に消したい名前があるときは、手順4、5を繰り返します。

6 最後に、LISTボタンを2秒以上押す。

すべての文字に「_」(下線)を入力して名前を消すこともできます。

CD/MD

ディスクを名前で探す

MDチャンジャーまたはカスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

名前を見ながら好きなディスクを選べます。CDについては、ディスクメニュー機能(26ページ)で名前をつけてからこの機能を使います。

- 1** LISTボタンを短く押す。



- 2** LISTボタンを押して聞きたいディスクの名前に切り換える。

ボタンを押さないまま5秒を過ぎると、通常の表示に戻ります。

- 3** 数字ボタン6を押して再生する。

ご注意

- ・「NO Disc」: ディスクが入っていない
- ・「*****」: 名前が入っていない。
- ・「?」: 本機がディスク情報を読み込んでいない。
- ・別売りのTVチューナーとTVモニターを接続すると、名前はTVモニターだけに表示されます。この場合、上記手順1~3の操作はできなくなり、LISTボタンはリスト表示のON/OFF操作となります。

パンク

CDの聞きたい曲だけを聞く

カスタムファイル対応のCDチェンジャーの場合

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、ディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけたCDだけです。

聞きたくない曲をとばすように指定する



PLAYMODE

9

- 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押す。次に数字ボタン9を表示が点滅するまで押す。



ENTER

6

- 2 SEEK/AMSボタンを押し、とばしたい曲の番号を表示して、数字ボタン6を押す。

表示が「PLAY(再生する)」から「SKIP(とばす)」に変わります。



5番目のディスクの3曲目をとばすとき

「PLAY」に戻すときは、もう一度数字ボタン6を押します。

- 3 同様にして、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。

PLAYMODE

9

- 4 最後に、数字ボタン9を2秒以上押す。

ご注意

- 「SKIP」を設定できるのは24曲目までです。
- 「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

曲をとばしながら聞く



PLAYMODE

9

- 1 CDを再生し、SHIFTボタンを押す。次に数字ボタン9を押して「BANK」表示にする。



- 2 数字ボタン10を押して再生のしかたを選ぶ。

再生のしかたが切り換わります。

BANK ON

→ BANK INV

→ BANK OFF

曲をとばしながら
再生

「SKIP」(とばす)を
設定した曲だけ再生

ふつうの再生

CD/MD

DSP

別売りのXDP-U50Dをつないで、プログラムソースにお好みの音場処理をすすることができます。

別売りのXDP-U50DMk2をつないだ場合の操作は、XDP-U50DMk2に付属の取扱説明書をご覧ください。

サラウンド効果を選ぶ

DSP(デジタルシグナルプロセッサー)は音声信号をデジタル処理し、お好みの音場に変えることができます。

DSPには10種類のサラウンド効果が用意されています。音楽の雰囲気に合わせてサラウンド効果を選ぶと、車内で臨場感あふれる音を楽しめます。

種類	効果	種類	効果
HALL	コンサートホールの雰囲気	OPERA	オペラハウスの雰囲気
JAZZ	ジャズクラブの雰囲気	CHURCH	残響音の多い教会の雰囲気
DISCO	堅い壁と床のディスコの雰囲気	STADIUM	野外スタジアムでのコンサートの雰囲気
THEATER	映画館の雰囲気	CELLAR	残響音の多い地下室の雰囲気
PARK	広々とした野外の雰囲気	DEFEAT	通常の状態
LIVE	ライブハウスの雰囲気		

1 サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



2 SOUNDボタンを押して「SUR」表示にする。

SUR -DEFEAT-



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。
設定したサラウンド効果に切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サラウンド効果の反射音・残響音を調節する

1 サラウンドを設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。

SOUND

◎ 2 SOUNDボタンを押して表示を点滅させる。



3 ダイヤルを回して設定したいサラウンド効果を選ぶ。



4 数字ボタン10を押す。



5 ダイヤルを回して好みのレベル(0 ~ 100%)にする。

数字が大きくなるほどライブ感は強くなります。

SOUND

◎ 6 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

DSP

CDごとにサラウンド効果を登録する

ディスクごとにお好みのサラウンド効果を登録できます。この機能が使えるのは、ディスクメモ機能(26ページ)でディスクに名前をついている場合です。

LIST

1 CDを再生し、LISTボタンを2秒以上押す。

LIST

2 LISTボタンを押してサラウンド効果の表示にする。

CD1 -DEFEAT-



3 ダイヤルを回して、好みのサラウンド効果を選ぶ
(一覧は30ページ)

LIST

4 LISTボタンを2秒以上押して設定する。

登録したサラウンド効果で再生するには

SHIFT

1 SHIFTボタンを押す。次に数字ボタン9を押して
'D.FILE'表示にする。

PLAYMODE
9

→
10

2 数字ボタン10を押して'D.FILE ON'表示にする。
5秒後にふつうの表示に戻ります。

ふつうの再生に戻るには、手順2で'D.FILE OFF'を選びます。

登録したサラウンド効果を変えるには

登録の手順1~4を行います。

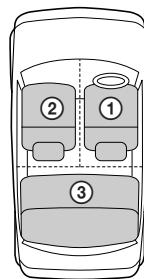
登録したサラウンド効果を消すには

登録の手順3で'DEFEAT'を選びます。

リスニングポジションを選ぶ

聞き手の位置(リスニングポジション)に合わせて、各スピーカーからの音の到達時間を調節し、快適で自然な音像定位を可能にします。座っている位置が音場の中心になるよう5つのリスニングポジションから選べます。

表示	種類	音場の中心
LP1	ALL	通常の状態 (①、②、③)
LP2	FRONT	前方(①、②)
LP3	FRONT-R	前方右(①)
LP4	FRONT-L	前方左(②)
LP5	REAR	後方(③)



1 SOUNDボタンを短く押して「LP1」表示にする。

LP1 ALL



2 ダイヤルを回してリスニングポジションを選ぶ(上の一覧を参照)。

回すたびに切り換わります。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

DSP

リスニングポジションを選ぶ(つづき)

リスニングポジションを微調節する

SOUND

◎ 1 SOUNDボタンを2秒以上押す。

SOUND

◎ 2 SOUNDボタンを押してリスニングポジションの表示にする。

→
10

3 数字ボタン10を押す。



4 ダイヤルを回して音場の左右の中心を設定する。



→
10

5 数字ボタン10を押す。

6 ダイヤルを回して音場の前後の中心を設定する。



SOUND

◎ 7 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押す。

前後のスピーカーバランスを調節する

本機ではサラウンド効果を選んでいるときとふつうの状態(DEFEAT)それぞれでスピーカーバランスを調節できます。

サラウンド効果を選ぶとリスニングポジションの効果を高めるために、リアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。リアスピーカーの音量を上げたいときには「FAD」(フェーダー)を調節してください。

◎ 1 SOUNDボタンを押して「FAD」表示にする。

2 ダイヤルを回してフェーダーを設定する。



3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーの音量を調整する

- 1 音量を設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。



- 2 SOUNDボタンを押して「SUB」表示を出す。

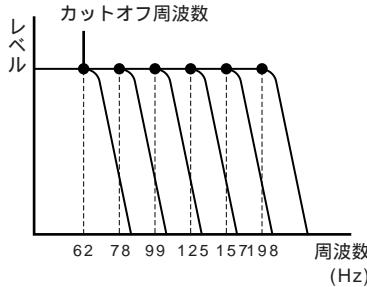


- 3 ダイヤルを回して音量を調整する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

サブウーファーのカットオフ周波数を選ぶ

サブウーファーから出力される音のうち、中高域の周波数を除きます(カットオフ)。サブウーファーは低い周波数のみを出力し、明確な音場を作り出します。つないであるサブウーファーの周波数特性に合わせて、6種類のカットオフ周波数の中から選びます。たとえば、62Hzを選ぶと、62Hz以上の音が除かれます。



- 1 カットオフ周波数を設定したいソース(CD、ラジオなど)を再生する。



- 2 SOUNDボタンを2秒以上押す。



- 3 SOUNDボタンを押して「SUB」表示にする。

SUB C.OFF125Hz →



- 4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

62Hz → 78Hz → 99Hz → 125Hz* → 157Hz → 198Hz

* : 初期値



- 5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押して設定する。

低音・高音の音量を調節する

1 音質を設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。

SOUND

2 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

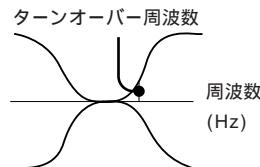


3 ダイヤルを回して音量を調整する。

3秒後にふつうの表示に戻ります。

ターンオーバー周波数を選ぶ

低音または高音を変化させたときの変化開始点の周波数のことをターンオーバー周波数といいます。ターンオーバー周波数は低音と高音で4種類ずつ用意されています。



1 ターンオーバー周波数を設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生する。

SOUND

2 SOUNDボタンを2秒以上押す。

SOUND

3 SOUNDボタンを押して「BAS」(低音)または「TRE」(高音)表示にする。

BAS(低音)設定の表示

BAS	314 Hz	→
-----	--------	---

TRE(高音)設定の表示

TRE	3.1 kHz	→
-----	---------	---



4 ダイヤルを回してカットオフ周波数を選ぶ。

Bass(低音): 198Hz → 250Hz → 314Hz* → 396Hz

Tre(高音): 2.0kHz → 3.1kHz* → 4.0kHz → 5.0kHz

*: 初期値

SOUND

5 最後に、SOUNDボタンを2秒以上押して設定する。

DSP

前回と同じサラウンド効果で聞く

最後に選んだサラウンド効果をソースごとに記憶させることができます。途中でソースを切り換えたり電源を切ったりしても、前にそのソースを聞いたときと同じサラウンド効果およびイコライザーカーブで聞くことができます。

ご注意

TVチューナーとTVモニターまたはFM文字多重放送受信ユニットを接続した場合、TVモニターまたはFM多重用モニターに「LSM」(ラストサウンドメモリー)と表示されます。

ラインアウトのレベルを選ぶ

スペクトラムアナライザー表示の振れ幅を調整するときや音が割れて聞きづらいときにラインアウトのレベルを切り替えます。

SHIFT

SET UP

8

10

1 SHIFTボタンを押してから数字ボタン8を押して
「L.OUT」表示にする。

2 数字ボタン10を押して設定を選ぶ(-10dB または
-16dB)

ご注意

ラインアウトレベル切り替えは使用できない機種があります。

テレビ・ビデオ

テレビやビデオはもちろん、チェンジャーに入っているCDやMDのタイトルをテレビ画面で見ることができます。

テレビを見るには別売りのチューナーとモニターを、ビデオを見るには別売りのビデオデッキとモニターをつないでください。

テレビを見る

TVチューナーユニットとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。あらかじめ、受信できる放送局をプリセットすると、簡単にチャンネルを選べます。

チャンネルを自動でプリセットする

最大10局までプリセットできます。



1 SOURCEボタンを押して「TV」表示にする。



2 SHIFTボタンを押してから数字ボタン5を押す。



BTM

5

受信できる放送局を探し始め、チャンネル順に数字ボタン1～10に割り当てます。

その他の操作

チャンネルを選ぶには 数字ボタン1～10を押す。

強制的に 「ステレオ放送が聞きにくいとき」(14ページ)と同じ手順を行う
モノラル受信するには う(ステレオ放送受信中)

副音声を聞くには SHIFTボタンを押してから数字ボタン9(PLAY MODE)を押
して「MAIN」表示にする。それから数字ボタン10(→)を押し
て「SUB」表示にする(2か国語放送受信中)

特定のチャンネルを
プリセットするには 「特定の放送局をプリセットする」(15ページ)と同じ手順を行
う(手順1では、FM/AMの代わりにTVを選びます)

テレビ局に
名前をつけるには 「放送局に名前をつける」(16ページ)と同じ手順を行う(手順1
では、FM/AMの代わりにTVを選びます)

DSP

テレビ・ビ
デオ

テレビ・ビデオ

ビデオを見る

ビデオデッキとTVモニターの取扱説明書に従って接続してください。



1 SOURCEボタンを押して「VIDEO 1」を選ぶ。

ビデオをTVモニターのVIDEO2端子につないでいるときは、
「VIDEO 2」表示に切り替えます。

2 ビデオデッキのボタンでビデオを再生する。

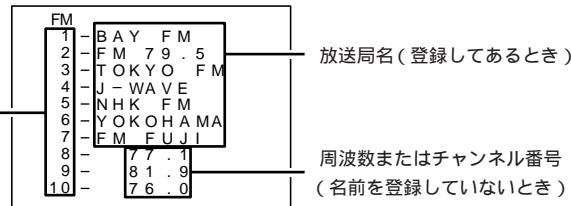
ラジオ局・テレビ局の一覧を見る

プリセットしたテレビチャンネルやラジオ局をTV画面で一覧できます。



ラジオまたはテレビを受信中にLISTボタンを短く押す。

数字ボタンの番号



現在受信中の放送局は赤紫色で表示されます。一覧が出ている間は、
テレビ画面は映りません。

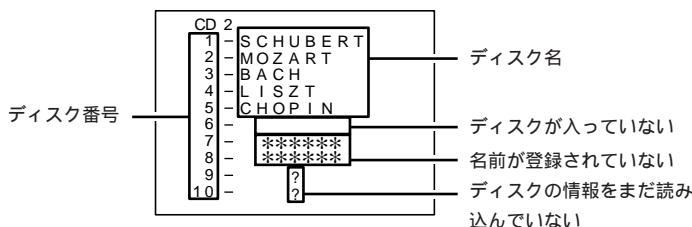
表示を消すには、ラジオ受信中はもう1度LISTボタンを押します。
テレビ受信中は、自動的にテレビ画面に戻ります。

テレビ・ビデオ

CD/MDの情報を見る

ディスクの名前をTV画面で一覧できます。CDについては、ディスクメモ機能(26ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。

LIST 再生中にLISTボタンを短く押す。



現在再生中のCDは赤紫色、MDは黄色で表示されます。一覧が出ている間は、テレビ画面は映りません。

表示を消すには、もう1度LISTボタンを押します。

テレビ・ビデオ

CD/CD-ROM

音楽CDに加えてビデオCDやCD-Gをコントロールして画像を再生できます。
別売りのCD/CD-ROMチェンジャーCDX-R61とバスシステム接続キット
RC-130を本機に接続します。さらに画像を楽しむには、お手持ちのテレビ
モニターかナビシステムに接続してください。

音声を切り換える

音声多重ディスク(ビデオCDやCD-Gなどの一部)では、左右のチャンネルに別々の音声が録音されています。このようなディスクでは左右どちらか、片方のチャンネルの音を選んで左右両方のスピーカーで聞けます(このような場合音声はモノラルになります)。

本機でCD/CD-ROMチェンジャーの音声を切り換えるにはDSPLボタンによる操作ではなく以下のようにしてください。



1 SHIFTボタンを押して「PLAY MODE」を表示する。

SHIFTボタンを押すと、操作できる数字ボタンの上に表示が出ます。(「SET UP」、「PLAY MODE」など)



2 数字ボタン9を押して、「STEREO」を表示する。



3 数字ボタン10を押して「L MONO」か
「R MONO」を選ぶ。



4 最後に、SHIFTボタンを押す。

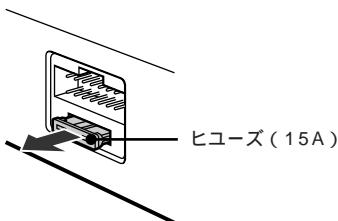
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CDプレーヤー内部の光学系のレンズに露(水滴)が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままでいると、レーザーによる読み取りができず、CDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、CDを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

コンパクトディスクについて

・ CDの汚れやゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

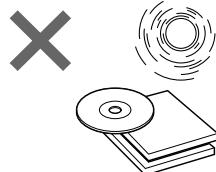


記録面に触れない
ように持つ。



ディスクに紙などを
貼らない。
キズを付けない。

・直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。



・再生する前に、再生面についたホコリやゴミ、指紋などを別売りのクリーニングクロスで矢印の方向へふき取ってください。



・ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。静電気防止剤なども、逆にCDを傷めることがありますので、使用しないでください。

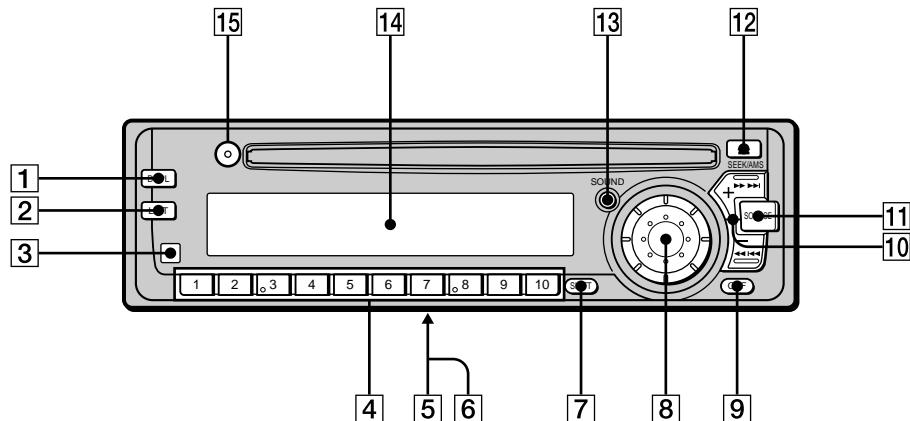
CD/CD-ROM

付
録

各部のなまえ

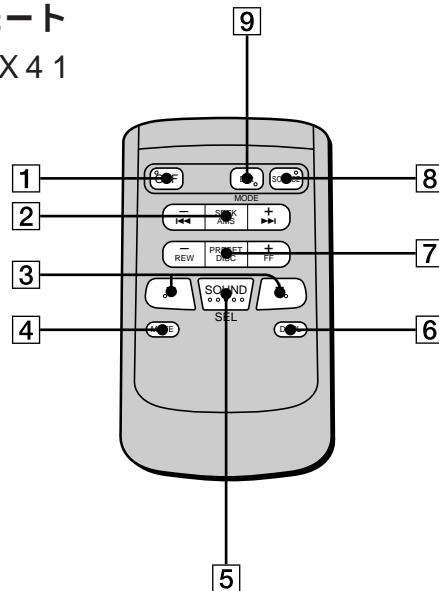
本体

内のページにくわしい説明があります。



- 1** DSPL (表示切り換え)ボタン **12 14 17 23 27**
リスト
- 2** LISTボタン
ラジオ **16 18**
CD/MD **28 28**
テレビ **40 41**
DSP **32**
- 3** リモコン受光部
- 4** 数字ボタン1~10
ラジオ **13 15**
CD/MD **24**
テレビ **39**
- 5** パワーセレクトスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
- 6** 音声出力/入力切り換えスイッチ(底面)
くわしくは「取り付けと接続」をご覧ください。
- 7** SHIFTボタン
- 8** BTM **8 39**
PLAY MODE **12 24 25 29 32 42**
SET UP **7 22 23 38**
ボリューム /バス /トレブル /バランス /フェーダー
- 9** OFF(電源切り)ボタン **11**
オフ
- 10** SEEK/AMS(頭出し/ラジオ選局)ボタン **11 14 15 29**
ソース
- 11** SOURCE(FM/AM/CD/MD/映像切り換え)ボタン **8 10 13 15 23 39 40**
イジェクト
- 12** ▲(CD取り出し)ボタン **11**
サウンド
- 13** SOUND(音質調整)ボタン **21 30 31 33 34 35 36 37**
- 14** 表示窓
- 15** リセットボタン **6**

ワイヤレスリモート
コマンダーRM-X41
(別売り)



- ① オフ
OFF (電源切り)ボタン
- ② シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局)ボタン
- ③ (+) (-)ボタン
ミュート
- ④ ミュート
MUTE (音切り)ボタン
- ⑤ サウンド
SOUND (音量調節/音質調整)ボタン
- ⑥ ディスプレイ
DISPLAY
DSPL (表示切り換え)ボタン

- ⑦ プリセット/ディスク
PRESET/DISCボタン
- ラジオ... プリセットした局を選局
- CD/MD... ディスク交換
- ソース
⑧ SOURCE(FM/AM/CD/MD/映像切り換え)ボタン
- ディレクション
⑨ DIRボタン

本機ではこのボタンは働きません。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">音量を上げてください。スピーカー接続時：フェーダーの設定が正しくない。 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。イコライザー接続時にフェーダーがリア側になっている。 イコライザーなどを接続して使用するときは、本機のフェーダーはセンターに合わせてください。イコライザーなどを接続していないのに、音声出力/入力切り替えスイッチが②側になっている。 音声出力/入力切り替えスイッチを①側にしてください。（取り付けと接続編もご覧ください）。
共通	<p>電源OFF時に時計表示にならない。</p> <p>パワーセレクトスイッチが③になっている。</p> <p>パワーセレクトスイッチを④にしてからリセットボタンを押してください。（アクセサリー位置のある車のみ）</p>
	<p>ラウドネスの効果がかからない。</p> <p>大音量になっている。音量を下げてください。</p> <p>ラウドネス効果は小音量時だけかかります。また、別売りのXDP-U50D、XDP-66EQまたはXDP-600EQ接続時はラウドネス機能は働きません。</p>
	<p>メモリーの内容が消えてしまった。</p> <p>リセットボタンを押した。</p> <p>動作用電源コードまたはバッテリーをはずした。</p> <p>電源コードが正しく接続されていない。</p>
	<p>ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。</p> <p>「ピッ」という音が出ない設定になっている（22ページ）。</p> <p>内蔵アンプを使用しないで別売りのアンプを接続した場合「ピッ」という音は出ません。</p>
CD	<p>CDが入らない。</p> <p>CDをいれてもすぐに出でくる。</p> <p>CDを誤った向きに入れようとしている。</p> <p>レーベル面を上にして入れてください。</p>
	<p>音がとぶ。</p> <p>音が途切れる。</p> <p>音が割れる。</p> <p>CDが汚れている。ディスクをクリーニングしてください。</p> <p>ディスクが傷ついている。</p> <p>本機の取り付け角度が20°を越えている。</p>
MD	<p>音がとぶ。</p> <p>チェンジャー本体がしっかりしていない所に取り付けてある。</p>

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
ラジオ/ テレビ	受信できない、 雑音しか出ない	<ul style="list-style-type: none">カーアンテナとの接続を確認してください。オートアンテナが上がっていない。パワーアンテナコントローラリードをANT/REM(青)コードに接続してください。周波数を確認してください。
	SEEKボタンを押しても聞 きたい局で止まらない	<ul style="list-style-type: none">「LCL」と表示されている場合は電波の強い周波数しか受信しません。表示を消してください(14ページ)。電波が弱くて自動選局できない。SEEK/AMSボタンを押しつづけて周波数を合わせてください。
DSP	音が出ない、 音が小さい	XDP-U50D(別売り)を接続した場合は、リスニングポジションの設定の効果を高めるためにリアスピーカーの音量が自動的に小さくなります。 DSP機能「入/切」それぞれの状態の前後スピーカーバランス設定をしてください。

付
録

CD/MDのエラー表示

CDチェンジャーやMDチェンジャーが誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank*	MDに何も録音されていない。	他のMDに入れ換える。
Error*	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	MDが何らかの原因で再生しない。	ほかのMDに入れ換える。
HighTemp	周囲の温度が50°C以上あり再生できない。	車内の温度が下がるのを待つ。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Mag	ディスクマガジンがチェンジャーに入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、チェンジャーに入れる。
Not Ready	MDチェンジャーのフロントパネルが開いている。	フロントパネルを閉じる。
	CD/MDが入っていない。	CD/MDを入れる。
PushReset	何らかの原因でチェンジャーが動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

*ディスクマガジン内でエラーを起こしたディスク番号が表示されます。

保証書とアフターサービス

保証書(別に添付)

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな?」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口(別紙)にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

付
録

主な仕様

CDプレーヤー部		付属品	ロータリーコマンダーRM-X2S (1)
SN比	90dB	取り付け/接続部品(一式)	
周波数特性	5~20,000Hz	取扱説明書(一式)	
ワウフラッター	測定限界以下	ソニーご相談窓口のご案内(1)	
チューナー部		保証書(1)	
FM		ワイヤレスリモートコマンダー	
受信周波数	76~90MHz(テレビ1~3ch)	RM-X41	
中間周波数	10.7MHz	CDチェンジャー	
実用感度	10dBf	CDX-8(10枚)	
周波数特性	30~15,000Hz	CDX-9(10枚)	
SN比 50dB感度(IHF)	18dBf	CDX-T6(6枚)	
実効選択度	75dB(400kHz)	CDX-T6(6枚)	
SN比	62dB(ステレオ)	CD/CD-ROMチェンジャー	
	65dB(モノラル)	CDX-R6(6枚)	
ひずみ率(1kHz)	0.9%(ステレオ)	MDチェンジャー	
	0.5%(モノラル)	MDX-60など	
ステレオセパレーション	35dB以上(1kHz)	グラフィックイコライザーミニ	
キャブチュアレシオ	2dB	ディスクプレーヤー	
AM		MDX-700EQ	
受信周波数	522~4,629kHz	デジタルプリアンプ	
中間周波数	10.71MHz/450kHz	XDP-U50D,XDP-600EQ	
実用感度	30μV	FM文字多重放送ディスプレイ	
アンプ部		ニット FMX-77	
適合インピーダンス	4~8	TVチューナーユニット	
最大出力	35W×4(4 負荷1kHz)	XT-40V	
電源部、その他		ソースセレクター	
電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)	XA-U20、XA-C30など	
出力端子	FMコンポジット出力端子、 フロント/リヤ音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール	バスケーブル(RCAピンコード 付属)	
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子	RC-61(1m) RC-62(2m)	
本体寸法	約178×50×170mm (幅/高さ/奥行き)	RCAピンコード	
取付寸法	約178×50×154mm (幅/高さ/奥行き)	RC-63(1m) RC-64(2m)RC-65(5m)	
質量	約1.5kg	バスシステム接続キット	
		RC-130	
		CDクリーニングキット	
		CDM-21BK	

本機の仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する
ことがあります、ご了承ください。

索引

あ行

イントロ 12
エラー表示 47
音質
　　サラウンド 30
　　残響音 31
　　反射音 31
　　ラウドネス 22
音量 10, 21

か行

カスタムファイル 26~29
カットオフ周波数 36

さ行

サブウーファー 35
サラウンド 30~32
　　DSPカスタムファイル
　　32
　　ソースサウンドメモリー
　　38
CD/MD 23

　　ディスク名の一覧 41
　　名前で探す 28
　　名前をつける 26
　　名前を表示する 27
CD-G 42
シャッフル 12, 25
ステレオ放送 14
スピーカーバランス 21, 35
SET UP
　　AMBER 22
　　BEEP 22
　　CLOCK 7
　　D.INFO 22
　　GREEN 22
　　LOUD 22
　　RM 22

た行

DSP 30
DSPカスタムファイル 32
低音 21, 37
ディスクメモ 26
デジタルシグナルプロセッサー
　　30
テレビ 39
　　チャンネルの一覧 40
　　名前をつける 39
　　プリセット 39
道路交通情報 15
電源 11
時計 7

な行

名前
　　消去する 17, 27
　　つける 16, 26, 39
　　表示する 17, 27

は行

バランス 21
ビデオ 40
ビデオCD 42
ヒューズ 43
表示窓
　　CD/MD 12
　　ラジオ 14
フェーダー 21, 35
プリセット
　　自動プリセット 8
　　テレビチャンネル 39
　　ラジオ局 13, 15
ベストチューニングメモリー8
ボタンの音 22

ま、 や行

モノラルモード 14

ら、 わ行

ラウドネス 22
ラジオ 13
　　局の一覧 40
　　自動選局 14
名前で探す 18
名前をつける 16
名前を表示する 17
プリセット 13, 15
ソースサウンドメモリー 38
リスニングポジション 33
リセット 6
リピート 12, 24
リモコン
　　ロータリーコマンダー
　　9, 19, 22
　　ワイヤレスリモートコマン
　　ダー(平形) 45

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111